

實行組合活動ノ經驗

無産村・大阪・山田村ハ

カク闘ツテ來タ!

(1) 産業組合五ヶ年計劃ナルモノガ發表サレ、産業組合ノ今日ノ不振ヲ打開スルタメノスバラシイ活動ガ展開サレテキル。ソノ一ツノ方法トシテ、今マデ産業組合ニハ組織サレ得ナイデ、農家實行組合ニ組織サレテキル農民層ニ産業組合ハ實行組合ノヤウニ容易ニ貧農層ヲ今マデツカミ得ナカツタ。(一)ヲ産組ニ獲得シヤウトシテキル。

(2) 農林省ノ農村經濟更生ノプランモ亦、農村ノ各部落ニ、貧農大衆ノ内部ニ深く根ヲハツタ農家實行組合ヲ、經濟更生運動ノ基本組織体トナシテキル。

コノ二ツノコトハワレラニーツノ示唆ヲ與ヘル。何レニシテモ廣汎ナル貧農大衆ヲ握ツテキル農家實行組合ノ運動ハ、ワレラノ見逃シガタイ存在デアアル。ワガ全農擴大中央委員會ハ全農ノ大衆化ノタ

メノムラ活動ヲ決定シタ。コノ點カラモ、ワレラハ農家實行組合ノ運動ヲ見ナホサナケレバナラナイ。

全國農民組合ハコノ成功のナ經驗ヲ、大阪府聯合會ノ山田支部ニ見ル。實行組合活動ヲ通ジテ全農ノ根ヲ、深ク村ノ隅々ニマデモハツタ山田支部ハ、去ル村議戦ニ、地主側得票二二五票ニ對スル三一〇票ヲ獲得シ、十二名中七名ノ村會議員ヲ當選セシメテ、新ラレキ無産村設立ノ意氣ニ燃エテキル。

山田支部ニ於ケル實行組合活動ヲ紹介シテ諸君ノ參考ト批判ニ供シヤウ。

「爭議ノサ中ニ自作小地主モ含メテ」

全國農民組合山田支部(大阪府北河内郡山田村)ノ指導下ニ中宮農事實行組合ガ設立サレタノハ昭和六年一日。前年度ノ爭議未解決ノ上ニ六年度、不作ニヨル高率ノ減額要求ヲタ、キツケテ對立ノモツトモ尖鋭化シタサ中ニ、大地主ト小地主ヲ分割シ、地主ノ孤立ノ戰術トシテ闘ハレタノデアアル。